

2008年12月26日

各 産別 殿

連合北海道
食みどり水道民の会

アジア・アフリカ支援米について

連日のご健闘に敬意を表します。

さて、「アジア・アフリカ支援米」の取り組みにつきましては、毎年、支援田（生産者に依頼して作付）からの収穫したお米と「茶碗一杯の米（カンパ米）」を、アジアやアフリカに送っています。

北海道では、お米を集めること、その輸送経費のためのカンパに取り組んでいます。

日本からの送付は「輸出」となり、輸出団体を通じて各国に送られていますが、北海道からは輸出に立ち会ったり、送付先の国に出向いたり近年はしていません。本年、カンボジアへの派遣を予定していましたが、中央段階で輸出団体と調整がつかず取り止めとなりました。

各都道府県には、到着した国の大使館から受け取り確認書が中央フォーラムを通じて送られてきます。本年のものを参考までに添付します。また、カンボジアでの贈呈式の様子を写した映像がありますので、希望される方には配布を検討します。

ただ、輸出団体が全国から集めた援助物資の中の一つとなりますので、北海道のお米が実際に使われた日にち等のトレースは困難を極めることをご承知ください。

「食・水・みどりを守る道民の会」の総会で報告をしていますが、以下に昨年度取り組んだ内容、今後の予定などを簡単に記載しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

1. 2007年

【支援米の取り組み】

2007年11月～12月に実施。

組合員の家庭から「茶碗一杯」のコメを約338kgを持ち寄るほか、輸送経費などに充当するカンパ活動に取り組んだ。

支援田は、道内6カ所で作付し、7644kgを収穫。

2007年2月5日、札幌市内の倉庫において、30kg 袋への詰め替え作業等を行い、約8トンの米をマリ共和国、カンボジアへ送付した。

【マリ共和国】

約1700kgを2008年2月に東京のマザーランドアカデミーあてに送付し、全国から集められた衣類などの物資とともに、3月31日に日本から出港となった。

マリ共和国日本大使館からは、2008年5月9日付けで受け取り確認書が送付されてきた。（別

紙1を参照)

【別紙1(確認書)の大意抄訳】

在日本マリ大使館は、マリの子ども達や貧しい人々に対して、マザーランドアカデミーを通して送られた米やその他の援助に敬意を表し、これを証明します。

1. 日本米18790kgとその他の物資

船名 MING ZHOU 12E770

出港日 2007年12月26日

2. 略

3. 日本米19690kgとその他の物資

船名 EASTERN EXPRESS 803W

出港日 2008年2月8日

4. 日本米9297kgとその他の物資

船名 ISLET ACE 809W

出港日 2008年3月31日

さらに、次の方々に対してお礼を申し上げます。

救援物資の提供者

平和フォーラム、・・・(以下略)

北海道からのお米は、「4」で送られた。

マザーランドアカデミーとしての取り組みは、下記のリンクをクリック。

<http://www.mother-land.org/page1.htm>

【カンボジア】

約6300kgを2008年3月に横浜港のWFP(国際連合世界食料計画日本事務所)あてに送付し、全国から集められた他の物資とともに輸出された。

(別紙2を参照)

【別紙2(確認書)の大意抄訳】

2008年4月23日

日本の子ども達によるカンボジアの貧しい子ども達への31.6トンのお米の支援について

この度お送りいただいたカンボジアへの支援米31.6トンにつき、フォーラム平和・人権・環境、日本の子どもたちに、国際連合世界食糧計画を代表しまして、心より感謝の意を表します。

最近の食料、特にお米の高騰により、WFPカンボジアは学校給食プログラムの停止を発表しました。そうした中で、このお米は、WFPの提携団体のNGOであるフォー・ザ・スマイルオブチャイルド(子ども達の笑顔のために)の約2000人の生徒が47日間の学校給食に供給されます。この子ども達はプノンペン郊外の危険なゴミ捨て場で働いていて救われました。

お米の贈呈式が4月23日に行われ、生徒やWFPカンボジア事務所の代表者などが出席しました。また、日本の子ども達の手紙も渡しました。この模様は映像に収録されています。

カンボジアにおけるWFPの活動に対する皆様の継続的なご支援に対し、改めて感謝申し上げます。

トーマス・カスターWFPカンボジア事務所代表

WFPホームページ

<http://www.wfp.or.jp/>

2. 2008年の今後の取り組み

1月中に道内から札幌の倉庫にお米を集約、2月上旬の袋詰め作業等を行い、マリ向け3次集約(2月20日から23日)に東京へ送付、カンボジア向けは2月中下旬で調整中、となっている。

以 上

